

Dance ダンス Dance ダンス Dance ダンス

全日本シニア・ジュニア・ユース10ダンス選手権

2028長野国スポに向けたジュニア育成について

第6回全日本ブレイクダンス選手権

神奈川県ダンススポーツ連盟創立50周年記念式典



<http://www.jdsf.or.jp>



公益社団法人
日本ダンススポーツ連盟
Japan DanceSport Federation

ご挨拶

公益社団法人日本ダンススポーツ連盟
理事 岡崎 朋美

昨年の三笠宮杯にてブレイキン
金メダリストAMI(湯浅亜実)選手と



公益社団法人日本ダンススポーツ連盟 (JDSF) の理事として在任しておりますスピードスケートオリンピックメダリスト・日本選手団旗手も務めました岡崎朋美でございます。自己紹介も兼ねてご挨拶申し上げます。現役当時から、市原則JDSF副会長 (元JOC副会長) には大変お世話になっており、引退後もいろいろな場面でお声がけを頂戴しておりました。その中でJDSF理事へのお誘いがあり、私もダンスに関して少し興味があり、またパリオリンピックで大活躍したブレイキンもそのカテゴリーの1つになるという事で、幅広いスポーツとしてのダンス、ダンススポーツに携わる第一歩となりました。

理事の一員として、ダンススポーツの発展に微力ながらお手伝いが出来たら幸いです。しかし、まだ社交ダンスと聞くと敷居が高いイメージがあるのですが、実際に目の前で特にラテン競技のサンバからチャチャチャ、そして、すぐ次の種目ルンバへ。さらに次のパソドブレから最後のジャイブへと進んで行く選手たちの表情は皆、自信に満ち溢れ、応援している観衆の方々も力が入ります。この光景を愛好者だけではなく一般市民の方々にも伝えて、気軽に応援してもらいたいと感じます。競技は異なっても、私たちスピードスケート陣も音楽を聴きながらトレーニングをし、ストレッチ・体力増強などでもリズムカルに自分なりのルーティーンで毎日の練習を過ごしています。

私は北海道知床半島の付け根に位置する清里町という町で酪農家を営む家に生まれ育ち、いつかどこかで花開くことを夢見ていた学童期、一つの手段としてプレすることもなくスピードスケートを続けてきました。釧路星園高等学校卒業後すぐ名門の富士急行株式会社に入社しスケート部に入部しました。そこには夏期3度、冬季4度、トータル7度オリンピック出場を果たした橋本聖子さん (現参議院議員) がいらっしゃって4年間一緒にトレーニングさせて頂きました。1年目は環境に慣れるのに必死で新人の役割もあり全く余裕はなかったのですが、1つ上の先輩が助けてくれたのを思い出します。私自身どのくらいの身体能力を持っているのか気になりながらスケートの道に進みましたが、質の高いトレーニングと高い意識の先輩方がたくさん居た富士急行の門をたたき、自分の選択は間違っていない、本当に良かったと思っています。1年1年の積み重ねと監督・先輩、富士急グループの皆様方のお力添えのおかげで、無名だった私を世界トップレベルにまで押し上げてくれました。この魔法のトレーニングによって、1994年ノルウェー・リレ

ハンメル冬季オリンピックで初出場を決め、そこからオリンピックロードが始まりました。

オリンピックには「魔物がいる」とよく言われますが、「魔物を味方につける」というスタンスで果敢に攻めていた現役時代。1998年長野大会では1年前にスラップスケート (かかとは離れるスケート) の突然の出現に戸惑いましたが、迷っている暇はなくスラップスケート攻略を目指して春先からチーム全員で通年氷があるアメリカ・ミルウォーキーへ合宿の為、急遽渡米しました。

その甲斐あってなんとかオリンピックでのメダル獲得 (日本女子短距離として初メダル「銅」を獲得) に成功しましたが、悲願である金メダルには届かず!! その悔しさから即、4年後の米国ソルトレークシティオリンピックへの挑戦が始まりました。しかし2000年シーズン後半に椎間板ヘルニアになり、選手生命が危ぶまれます。なんと「スピードスケート選手で椎間板ヘルニアの手術をして復活した選手はいない!」と言われて、心に火が付き、絶対に「手術して復活する!」と決めました。リハビリは思っていた以上に過酷でしたが、信念を持って取り組んでいった結果、良い方向に向かい2002年ソルトレークシティオリンピックに出場、そのご褒美に500mの日本記録更新も! 思い出のオリンピックになりました。

その後も2006年イタリア・トリノでは日本選手団主将を務め、さらに2010年カナダ・バンクーバーでは日本選手団旗手も務め、冬季オリンピックの日本女子で最年長、最多の5大会連続出場を経験させて頂きました。

結婚・出産を経験し、当時はママさんアスリートのサポート体制は無く手探りの状態でしたが。実母と義母の力を借りて一緒に遠征、子供の面倒を見てもらいながらリンクに向かう時期があり、誰も参考にする人がいない中、試行錯誤でトレーニングを行っていました。海外選手に聞くと、ちゃんと「妊婦のトレーニングプログラムがある」と言うのにビックリ、日本は世界と比べて随分後



長野五輪 銅メダルを獲得

れを取っていると感じました。今では公益財団法人日本スケート連盟（JSF）及び各加盟都道府県連盟においても強化サポートをしっかりとしていると思うので、強化選手は今まで以上に頑張ることが出来ていると思います。

来年（2026年）2月にはミラノ・コルティナダンペッツォ五輪が開催されます。スピードスケート陣では高木美帆選手の活躍が期待されますが、男子短距離陣からも目が離せず、また暑い冬が来ると思うとワクワクします。今では趣味としてスケートを楽しんでいます。世界マスターズ（年齢別）や全日本マスターズもあるので、健康維持の為に仲間と楽しみたいと思います。もちろんダンスの方も、練習して踊れるように努力しようか、と思う日々。口ではいくらでも言えますが、選手と共にこれからもスポーツを愛し、日本の元気印になれるように精進してまいります。皆さま方も、日本ダンススポーツの発展にご尽力下さいますよう、どうぞ宜しくお願い致します。



バンクーバー五輪

都道府県連盟及び事務所から選出された正会員名簿

任期：2025年5月1日～2027年4月30日

定数：82名

2025年度公益社団法人日本ダンススポーツ連盟正会員選挙は、会員選出に関する規則第2条第3項及び第3条第3項に基づき1月15日に告示され、選挙管理委員会委員長 高橋和代氏（埼玉県ダンススポーツ連盟）の下に正会員選挙を実施し、2025年5月1日から2年間の正会員82名が決まりました。

都道府県連盟	定数	正会員名
北海道	2	高橋 毅 吉崎 巖
青森県	1	片桐 圭司
岩手県	2	佐藤 誠 出羽 睦子
宮城県	2	佐々木 啓 村上喜一郎
秋田県	1	長谷川政弥
山形県	2	平井 剛秋 黒田 敏雄
福島県	2	野地 康雄 熊谷 義昭
茨城県	2	今瀬 寛 伊藤 一光
栃木県	2	森 和夫 渡邊 行男
群馬県	2	岩田 雅明 吉田 勝治
山梨県	1	石原 英一
埼玉県	2	蒲生志津雄 高橋 久雄
千葉県	2	小田利登志 渡辺 英美
東京都	5	岡里美恵子 此村 義明 清水 良二 蔵方 政治 矢吹 和也

都道府県連盟	定数	正会員名
神奈川県	3	須田 幸彦 佐々木孝一郎 林 昭義
新潟県	2	石川 誠一 加瀬 慎一
長野県	2	高橋 淳 百瀬 芳正
富山県	2	笹山 治一 黒田 成則
石川県	1	池田 陽一
福井県	1	小形 完治
静岡県	2	鈴木 俊明 溝口 稔
愛知県	2	佐合 孝史 每原 保信
三重県	2	滝澤 秀行 森 晃士
岐阜県	1	和田美谷幸
滋賀県	2	山下 英利 伊藤 康雅
京都府	2	谷口 主嘉 松本 武士
大阪府	2	天道 貞一 平川 順一
兵庫県	2	藤本 悟 池内 猛
奈良県	2	大江 偉夫 阪田 麗二

都道府県連盟	定数	正会員名
和歌山県	2	野田 尚児 木村 修
鳥取県	1	前田 博
島根県	1	野島 辰彦
岡山県	1	秋政 邦江
広島県	2	升本 照子 西原 和也
香川県	1	戸高 謙治
徳島県	1	鈴江 潔
愛媛県	1	武田真知子
高知県	1	佐々木浩一
山口県	1	貞舛 由利
福岡県	2	堤 憲治郎 藤武 幸光
佐賀県	1	川田 豊
長崎県	1	青木 信之
熊本県	2	坂本 省一 園田 増雄
大分県	1	車田 源一
宮崎県	1	清野 京子
鹿児島県	2	柳田 浩美 安樂 剛
沖縄県	2	安谷屋 聡 屋比久悦子
事務所	2	永山千賀子 兄後 幸大

環境を守る
スポーツを守る
未来を守る

TEAM JAPAN!

来たときよりもきれいに!



公益財団法人日本オリンピック委員会
Japanese Olympic Committee

日本航空株式会社のJDSFオフィシャル・パートナー就任記念
JDSF JALの翼で華麗に舞い立つ旅キャンペーン
「JDSF会員」かつ「JALマイレージバンク会員」への限定特典

JDSFは、日本航空株式会社のオフィシャル・パートナー就任を記念して、特別キャンペーンを実施します。参加登録など一切無料で、**ご利用回数に応じたキャッシュバック**が受けられます。



■ **期間:** 2025年1月～2025年12月のJAL便搭乗 先着延べ1,000名までの特典※1

■ **内容:** JAL便 利用回数に比例したキャッシュバック

★JAL便のご利用毎にカウント（お一人の対象回数に制限はありません）

★**一往復（又は2区間）毎に1,000円分のデジタルQUOカード**をJDSFがプレゼント。（例：10往復の場合は1万円）デジタルQUOカードは、メールで届いたQRコードを表示するだけでコンビニ他の取扱店で支払いに使えます。※2,3

■ **キャッシュバック条件:**

★受信可能なメールアドレスがあり、「JALマイレージバンクお得意先番号」（以下、**JMB番号**）をお持ちで、JAL便の搭乗実績がJDSFにて集計された場合とします。

★JMB番号のない方は、別途JALカード取得キャンペーン（[資料1](#)）にて取得をお勧めします。



【1】 **国内線航空券をネット購入の場合**（詳細は[別紙1](#)参照）

★法人JDSF用のJALオンライン https://john.jal.co.jp/rm_john/login2.jsp にログインして予約購入してください。公式のJALウェブサイトよりお得な航空券も表示されます。※4
最初のみ、右下の「**セルフ社員登録ログイン**」から**利用登録**が必要です。

【2】 **国際線航空券をネットで購入の場合**（詳細は[資料2-①](#)参照）

★JALコーポレートフライトメリット <https://www.jal.co.jp/jcfm/member/discount-fare/> より購入してください。公式のJALウェブサイトより安い運賃が表示されます。

★CFMJLYに続けてJDSF専用の**ツアーコード**として **LJ22** を入力してください。

【1】又は【2】で予約・購入された航空券についてJDSFがキャンペーン対象として自動積算し、ご登録いただいたメールアドレスに一定期間分の金額をまとめたデジタルQUOカードをお送りします。

【3】 **国際航空券を対象の旅行代理店で購入の場合**

★所定の代理店※5での購入時に、JDSF専用の**ツアーコード** = **LJ22** 使用を確認の上、JAL便またはJALコードシェア便の申し込みとお伝えください。この場合は【2】と同じ扱いになります。

【4】 **その他**（国内線/国際線、個人/団体を問わず上記以外で購入された場合）

★航空券情報（搭乗日/便名/購入金額/搭乗券番号など）を保管の上、
事後登録フォーム: <https://forms.gle/UuVe7ehCsqdJnAm37> にご登録ください。

★期間内のご本人のJAL便搭乗が明確に確認できた場合のみキャッシュバック対象となりますが、個別の応答、不採用理由説明などはできませんのでご了承ください。※6

■ **その他の情報と注意事項**

※1 先着の延べ1,000名に達した時点で終了となります。（ホームページでの終了案内は若干遅れる可能性があり、終了案内前の搭乗でも対象とならない場合があります）

※2 メール上のURLをクリックするとデジタルQUOカードが表示され、コンビニなど対象店舗でお買い物ができます。

※3 キャッシュバックは搭乗確認の約3か月後に、積算の上でメールにてデジタルQUOカードで送信される予定です。

※4 JALオンラインに登録すると、JAL搭乗マイルが貯まるほか、JALオンライン専用運賃の表示があるなどメリットがあります。

※5 2025年3月時点の対象代理店は以下の通りです。

・日放ツーリスト 団体営業部 担当:堀ノ内様 TEL:03-3481-7666

・JTБ スポーツマーケティング事業部営業一課 担当:櫻庭様 TEL:03-5909-8090

・近畿日本ツーリスト スポーツ・ウェルネス営業支店 担当:石橋様 TEL:03-6891-9307

※6 個別のお問合せにお答えできませんが、フォームのトラブル等は<jal888@jdsf.or.jp>にてご回答できる場合があります。

※7 キャンペーン内容は、状況によって一部変更される場合があります。最新情報はJDSFホームページをご確認ください。

※8 ご搭乗情報などの個人情報は、JDSFが当キャンペーンの確認目的にのみ利用します。

<https://qr.paps.jp/kcKOO>

資料や別紙、リンク先をご覧ください。スマホでこちらを読み取ってください



第10回 全日本シニア10ダンス選手権 第3回 全日本ジュニア10ダンス選手権

宇治市西宇治体育館

2025年1月13日(月・祝) / 宇治市西宇治体育館



開会式で選手入場

全日本10ダンス選手権はシニア、ジュニア、そしてユースの各部門、いずれも京都での開催となります。世界最古の女性文学とも言われる「源氏物語」を執筆した紫式部の生涯を描いた、昨年のNHK大河ドラマ『光る君へ』のゆかりの地である宇治市立西宇治体育館を会場に、午前9時45分、阪田員郭実行委員長 (PD西部ブロック京都府支部長) の開会宣言から競技は始まりました。



谷口主嘉大会会長の挨拶。
左は阪田員郭実行委員長



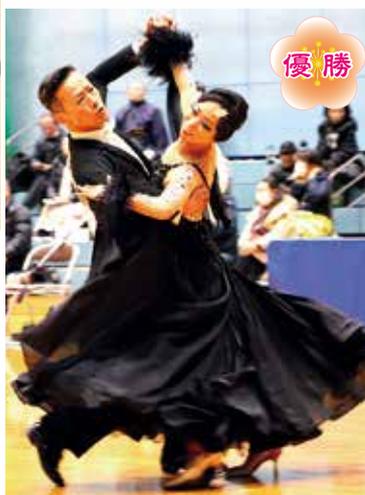
金子祐大・赤羽愛梨組の
選手宣誓

この大会恒例の入場行進と記念撮影は13時半から行なわれ、大会会長を務める谷口主嘉京都府DS連盟会長は、新年の挨拶と開催日が1月12日(日)から1月13日(祝・月)に変更されたお詫びがあり、エントリー数も前回(2024年)に比べ若干減少も見られましたが、新たなジュニア選手が10ダンスに参戦しました。谷口小夜子さんと植村澄子さんのステマネ&司会の名コンビで進行し、例年以上の盛り上がりのある大会となりました。



シニア10ダンス選手権の横断幕と選手役員一同

全日本シニア10ダンス選手権



優勝



第3位



準優勝



石田茂之・矢野美帆子組
(水戸ニューウイングD.S.C.)

2020年からこの大会を6連覇した石田組。「やっぱり嬉しいです。お互いに仕事を持っているので大変ですが、カップル歴は10年。お互いの強みを活かし、弱点を補い合うことができていければ理想ですが、はたして!？」



第4位

白井佑治・宮永梨多組 (石原・中村教室)



第5位

松本武士・宮西朋代組
(京都Dアスリートクラブ)



第6位

内藤雄介・秋松ひとみ組
(北海道DSC)

山下慶太郎・池田綾香組
(名古屋市西区所属サークル)



表彰式 喜びの選手一同

全日本ジュニア10ダンス選手権

齊藤有音・柴田莉奈 組(ダンスチームみやおか)

同じ13歳(中学1年)のカップル。
「ずっとダンスを続けて、将来は社交ダンスを広めていくことができるように! これからも頑張ります!」



第3位

見山遥都・金子 葵 組
(木嶋クラブ)



準優勝

水田悠斗・大塚千榮 組
(京都ジュニアD.S.C.)



優勝



第4位

(ジュニアアスリートクラブ)
竹安優・前川美桜 組



第5位

黒嶋将聖・宮田柚子 香 組
(ダンスチームみやおか)



第6位

金子祐大・赤羽愛梨 組
(木嶋クラブ)



出場選手と保護者の皆さま

優勝

A級戦 スタンダード



米田憲弘・米田美砂子 組
(兵庫アスリートクラブ)



長村和也・長村祥子 組
(大仏ダンスクラブ)

準優勝

A級戦 ラテン



藤本健治・デビエラ・隠地沙保 組
(兵庫アスリートクラブ)

優勝



大矢部廣昭・中川弘美 組
(DSC大阪)

準優勝



第3位 川合 明・松島照子 組
(京都Dアスリートクラブ)
第4位 魚井砂希・堀江公子 組
(大阪府連盟直轄)
第5位 加藤修久・加藤裕子 組
(DSC大阪)
第6位 江添武美・大川恵子 組
(D京都Dアスリートクラブ)



第3位 栗林幸範・左雲和子 組
(DSC大阪)
第4位 養父規幸・養父啓子 組
(DSC大阪)
第5位 大下静男・植田幸世 組
(兵庫アスリートクラブ)
第6位 加藤一雄・山田明美 組
(リアン)



優勝

シニアII A級戦 スタンダード



栗林幸範・左雲和子 組(DSC大阪)



優勝

シニアIII A級戦 スタンダード



飯田国男・饗庭恵子 組(滋賀県SDC)



優勝

シニアIV A級戦 スタンダード



勝部 守・勝部千佳子 組(大阪府連盟直轄)



プレジュニアSt・
プレジュニアLa・
プレジュブナイルLa
3部門優勝!

水田悠斗・大塚千榮 組(京都ジュニアD.S.C)
水田悠斗選手はソロダンスII St優勝、
大塚千榮選手はソロダンスII La優勝





B級戦 スタンダード



大矢部廣昭・中川弘美 組 (DSC大阪)



B級戦 ラテン



谷中和彦・金澤明子 組 (DSC大阪)



C級戦 スタンダード



辻井正夫・品川浩子 組 (長岡京DC)



C級戦 ラテン



山本信和・山口倫子 組 (兵庫アスリートクラブ)



D級戦 スタンダード



鳴戸 剛・岩崎静子 組 (奈良県連盟直轄)



D級戦 ラテン



西川 匡・西川温美 組 (大阪府連盟直轄)

2025ユース10ダンス選手権

《2025世界ユース10ダンス選手権派遣選考会》

2025年3月9日(日) / 宇治市黄檗公園体育館

ヴァグネル悠樹・和嶋凛々愛組 (Sirius)



第3位

準優勝

伊達楓真・嶋田虹花組 (京都ジュニアD.S.C)



優勝

外村温仁・田中夏希組 (横浜中央キッズクラブ)



江田煌也・水田早紀組 (バルホール)



第5位

南山雄大・寺本彩央組 (塩尻J.Y.アスリートクラブ)



第4位

池田恵都・内山姫菜組 (ダンス運動北九州スポーツ少年)



第7位

足立結菜・松田凜星組 (スタースタージャンプD.S.C)



第6位



Kyoto Dance S

ジュニア層の育成について



JDSF選手強化本部 ジュニア育成部長
溝口 稔

2028年長野国民スポーツ大会に向けて、特に重要となる、全国に向けてのジュニアアスリートの育成策、普及策やその展望について

2028年長野県国スポにおいて、ダンススポーツの公開競技が行われることを受けて、ジュニア育成部としては各都道府県連盟にジュニア層の普及推進を呼びかけております。

2028年長野国スポでは少年の部と成年の部を行う予定です。少年の部は中学生3年～高校生3年（又は15歳～18歳）、成年の部は18歳以上です。シラバスなど詳細は本年5月に決定の予定です。

いずれにせよ、国スポで成果を上げ正式種目に格上げするには、いかに多くの都道府県から選手団が派遣されるか、とりわけ少年の部に多くの選手団が派遣されるかがカギとなると考えられます。また、将来のダンス界を見通してもジュニア層の発掘育成は欠かせません。

そのため、各都道府県単位でジュニアアスリートクラブ（或いはジュニアクラブ）を立ち上げることが肝要と考えます。国スポ選手は都道府県連盟所属のジュニア層のみならず、組織の垣根を越えて他団体とも一緒になって少年の部の選手を育てるのが重要です。それを行なうのが、国スポへの選手派遣を実際に行う各都道府県連盟の責任と思います。

そして、ジュニア育成部としては、ジュニア層の選手育成をするきっかけづくりをするため、以下の事業を行なうことをお勧めいたします。

I ジュニアダンス育成委員会とジュニアアスリートクラブ（ジュニアクラブ）立ち上げ

- 1) 都道府県にジュニア指導をしている人を中心として「県ジュニアダンス育成委員会」を立ち上げ、ジュニアアスリートクラブ会員を募り、組織に関わりなく広く県内のダンスを楽しむ子供たちを集めて、活動する。
- 2) 派遣選手選考競技会を開催し、強化選手を選抜・育成する。
- 3) 競技内容：18歳以下の子どもでソロ競技、同性同士の競技も開催するなど多様な競技に対応する。

II 普及のきっかけとして「JDSFジュニア普及推進委員会」（4月立ち上げ予定）の以下の委託事業の中から1事業を選んで開催する。

委託事業A：ダンススポーツジュニア教室

ジュブナイル、ジュニアでダンスに取り組んでいる子

ども、また取り組みたいと考えている子ども達を集めてジュニア教室を開催する。合わせて、ジュニア指導員養成を図る。

委託事業B：競技会の開催時期にジュニア講習の開催
有望選手を都道府県連盟競技会の招待選手として派遣してもらおうと共に、競技会の前後の日にちにジュニア教室（普及講習会）を行う。講習会はジュブナイル、ジュニアを対象として、ダンススポーツの基礎を講習する。合わせて、ジュニア指導員養成を図る。

委託事業C：ダンススポーツジュニア普及イベント（ジュニアダンスフェス）

ダンスに関連する子供たちを集めて、ダンスの楽しさを教える普及イベントを開催する。地元ダンス関係の子供たち、ヒップホップダンス、サルサダンス、ジャズダンス、アクロバット体操などの子供たちを集めてダンススポーツスタンダード及びラテンの楽しさを伝える。合わせて、ジュニア指導員養成を図る。

いずれの3委託事業において、JDSFジュニア普及推進委員会から以下の支援を得られます。

- ・講師はジュニア普及推進委員会で手配し派遣する。
- ・講師旅費、謝礼はジュニア普及推進委員会が負担する。

無論、地元ではダンスを楽しむ子供達を出来るだけ多く集める努力は行っていただきたい。その為に、外に目を向けて、子供たちが集まる施設や地域スポーツクラブ、学童保育の場に出向いていくようにしましょう。

ダンスの好きな子は沢山います。ただ子供たちはカッパルで踊るダンスより、一人で踊るダンス或いは多くの子供と一緒に踊るダンスが好きです。そういう子供を集めて、我々のダンススポーツの良さを解って貰えば、中にはダンススポーツに興味を示す子供がいるはず。それには、同じ年代であるトップダンススポーツ選手の素晴らしいダンスを見せることが肝心です。

ジュニア普及委員会では、現在の若いトップダンサーに、各地に足を運びダンススポーツを広めてもらうように協力をお願いしており、多くの若きトップダンサーの了解を得ています。

今年は若いジュニア指導員も多く誕生しました。彼らも協力を惜しまないです。

是非、明るい未来を目指して、私たちの素晴らしいダンススポーツを広めようではありませんか。2028年国スポ公開競技がその大きなきっかけとなる事を願ってやみません。

2028長野国スポに向けた ジュニア育成の取組み

静岡県ダンススポーツ連盟
会長 **金子 和裕**
(JDSF常務理事)



静岡県ダンススポーツ連盟では、昨年よりダンス関係団体に呼び掛け、ダンス好きな子を集めて、静岡県ジュニアアスリートクラブ (SJAC) を結成しました。

静岡県ボールルームダンス連盟はじめヒップホップ、ジャズダンス、サルサなど他ジャンルのサークルにも呼び掛けて子供たちを募集したところ、35人の子供たちが参加してくれました。その中から、2028年の国スポに向けて優秀な選手を選考し強化選手の認定及び特典を与えました。

強化選手の選考方法は、静岡県ダンススポーツ連盟主催の競技会、静岡県ボールルームダンス連盟主催の競技会、両者で共催する競技会の3大会の成績結果からのランキング順位及び全国大会での優秀な成績を考慮して選考しました。

強化選手の特典としては、

- ①SJAC講習会及び練習会の優先参加
- ②全国的なジュニア競技会に出場時の旅費援助
オールジャパンジュニアカップ、小中高ボールルームダンス選手権などに出場した強化選手に旅費の支援
- ③ユニフォームの貸与

選手強化育成のためにSJAC講習会開催としては、昨年度は著名な講師を招いて3回開催致しました。

まず昨年8月にJBDFラテンA級服部一真・牧野果礼(かれん)組を招いてサマーキャンプ講習会を開催、その後、10月にはオータムキャンプに池田昌和・まつり組を、冬1月にはウインターキャンプでホワイトン謙心・夏奈実組を招いて開催しました。

来る5月にはスプリングキャンプとして、久保田弓椰・徳野夏美組を予定しています。

これらの講習会では、選手強化を目指すのみならず、静岡県の選手として子供たちが連携し、仲間意識と一体感を醸し出すように努力しています。このような情報が拡散して、新しくダンスを始める子供達が出てくるとも期待しています。

今後もこの活動を続けて参り、来る2028長野国スポには優秀な選手団を派遣できるよう頑張りたいと思います。

静岡県ジュニア アスリートクラブ 強化選手



鈴木海璃・細井みずき 組



馬場清華・松岡心菜 組



袴田那津郎・松岡楓愛 組



ユニフォーム貸与式。左端が金子和裕静岡県DS連盟会長



池田昌和・まつり組講習会



池田昌和・まつり組講習会 (オータムキャンプ) に参加した皆さん



服部一真・牧野果礼組講習会（サマーキャンプ）参加者



ホワイトン組講習会風景（ウインターキャンプ）



ジュニアフェスティバル in 静岡のソロ競技



ホワイトン謙心・夏奈実組講習会。左から5人目が溝口稔ジュニア育成部長

Fresh Fresh!!!!
学連便り

第51回旧七帝国大学舞蹈選手権大会

2025年3月23日（日）／東北大学川内体育館



開会式



「参加いただく選手、学生諸君、心から歓迎申し上げます」
福山博之全東北学連会長
（東北大学）の挨拶



西 悠仁・山本里緒組
（東北大学）による
選手宣誓



大会役員と審査員の先生方

1984年（昭和59年）、全日本学生舞蹈連盟から全日本学生競技ダンス連盟と改称され、以後、学連の主催・後援大会もほとんど舞蹈選手権から競技ダンス選手権と改称されましたが、この大会は1975年（昭和50年）の第1回大会より「旧七帝国大学学生舞蹈選手権大会」と称して開催されています。

今大会で圧勝した北海道大学は体育系公認団体として活動し、夏全、冬全と連覇を続ける強豪校です。
（全東北学生競技ダンス連盟副会長 神宮周二）



神宮全東北学連副会長と奥山審査員長

団体成績

- 優勝 北海道大学
- 準優勝 東京大学
- 第3位 東北大学
- 第4位 京都大学
- 第5位 九州大学
- 第6位 大阪大学
- 第7位 名古屋大学



ジュニア戦ラテン風景



団体戦スタンダード風景

大浦琴梨 大会実行委員長（東北大学）

「2011年3.11の東日本大震災！ この日この時、まさに石狩市の体育館で「第37回旧七帝戦」の真っ最中でした。その時、東北大学の学生は我が家に戻れず2週間に渡り北海道大学のお世話になりました。このご恩を忘れることはありません」



団体戦

- ★ワルツ・タンゴ・フォックストロット優勝
儀同 玲・稲葉佳恋 組（北海道大学）
- ★クイックステップ・ヴェニーズワルツ優勝
稲田 貴・江田結子 組（京都大学）
- ★チャチャチャ・ルンバ・ジャイブ優勝
三浦寿夢琳・滝口凛々子 組（北海道大学）
- ★サンバ・パソドブレ優勝
村田悠真・木村文香 組（北海道大学）

第28回千葉県ダンススポーツ選手権大会

関東甲信越ブロック選手権シニアⅢ

第20回千葉県ダンススポーツ選手権プレジュニア

2025年1月12日(日) / 成田市重兵衛スポーツフィールド中台体育館

千葉県ダンススポーツ連盟常務理事
競技会企画管理部長 **三根 豊治**

例年5月に開催している千葉県ダンススポーツ (DS) 選手権ですが、今回は会場となる体育館の修繕工事の予定により、やむなく1月開催となりました。また、都合により千葉県DS選手権プレジュニアと関東甲信越ブロック選手権シニアⅢの二つの選手権を併催することとなり、大変に見応えのある大会となりました。

真冬の開催でしたが、渡辺英美千葉県DS連盟会長の挨拶で始まり、ご来賓の小泉一成成田市長からユニークな祝辞をいただき、温かい雰囲気の中で競技が開始されました。そして、さすが選手権とあって、それぞれの競技で熱戦が繰り広げられ、寒さも何のその、選手の皆さんは練習の成果を存分に発揮していました。

千葉県DS選手権の優勝を勝ち取ったのは、ラテンは安藤弘倅・遠藤咲乃組(東京都)、スタンダードはKampert Alexander・鎮西春奈組(東京都)でした。2組には表彰式で見事なおナーダンスを披露していただきました。6位ま

でに入賞し関東甲信越ブロック代表として三笠宮杯出場権を勝ち取った選手たちは、きっと三笠宮杯全日本DS選手権でも活躍されることでしょう。なお、Kampert・鎮西組は県内在住のため4月からは千葉県の所属となります。

千葉県DS選手権プレジュニアは、ラテン、スタンダード共に足立博海・加藤向葵組(ダンスチームみやおか)が優勝し、関東甲信越ブロック選手権シニアⅢは、ラテン清水淳・清水日奈子組(茨城県)、スタンダード冬野英和・冬野朋子組(千葉県)が、それぞれ優勝の栄冠を勝ち取りました。



大会会長の渡辺英美
千葉県DS連盟会長の挨拶



小泉一成成田市長の
ご祝辞



チェアパーソンを務めた
著者、三根豊治常務理事

千葉県ダンススポーツ選手権

優勝



Kampert Alexander・
鎮西春奈組(東京都)

準優勝



海老原竜太・尾身菜月組
(エビハラダンススタジオ)

第3位



野口雄一朗・奥野亮子組
(東京都)

スタンダード



表彰式

ラテン

第3位



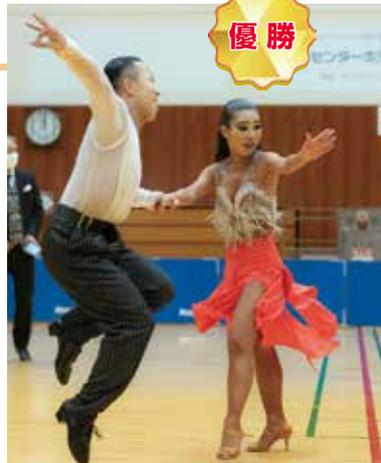
山本哲郎・工藤由美子組
(東京都)

準優勝



川崎貴文・山田梨奈組
(千葉県)

優勝



安藤弘倅・遠藤咲乃組
(東京都)

表彰式

千葉県ダンススポーツ選手権プレジュニア

スタンダード&ラテン

優勝



足立博海・加藤向葵組
(ダンスチームみやおか)



スタンダード表彰式



ラテン表彰式

関東甲信越ブロック選手権シニアⅢ

スタンダード ラテン

優勝



冬野英和・冬野朋子組(千葉県)



清水淳・清水日奈子組(茨城県)

優勝



ドレスをお家で洗いましょう

使用するもの

洗濯用液体洗剤(オシャレ着洗い)、柔軟仕上げ剤(お好みの香り)
そして、大型洗濯ネット



大阪府ダンススポーツ連盟
金澤 明子

始めましょう

①洗面台などシンクに洗剤と水(ぬるめの湯がお薦め)を張り、泡立てる



②洗濯ネットに入れたドレスを洗剤液に付けて押し洗いのする

③洗濯ネットごとドレスを水から上げて、濯ぎ用に水を入れ替える(1回目の濯ぎ)
押し洗いで濯ぐ。汚れのひどい場合は同様に水がある程度透明になるまで繰り返す



④仕上げ洗い

お好みの柔軟仕上げ剤を適量、新しく入れ替えた水に混ぜて、ドレスを入れ、数回押し洗いのする

⑤洗濯機で3分間脱水する

⑥脱水後、直ちに乾燥させる

乾燥のポイント

浴室乾燥機がベスト。出来るだけ短時間で乾かす事が大切です(クリスタルが浮くので)。浴室乾燥機がない場合は、除湿機、エアコンの洗濯乾燥機能、扇風機などを使用し、必ず日陰干しにしてください(直射日光は変色の原因になります)。出来るだけ速く乾燥させてください。



オーストリッチファー付きドレスは、白は大丈夫ですが、色付きドレス(特に濃い色)の洗濯は、変色や色落ちが激しいので避けてください。

(ドレスオーダー専門Arose)

JDSF 第6回 全日本ブレイキン選手権



2025年2月15日(土)・16日(日) / NHKホール(東京都渋谷)
主催: 公益社団法人日本ダンススポーツ連盟 共催: NHK

JDSFブレイクダンス強化本部長
渡邊 将広(JOCナショナルコーチ)

オリンピック経験者と新世代が日本一の称号をかけて激突

本大会は、前年度の全日本ブレイキン選手権の優勝・準優勝選手や2024年に日本ダンススポーツ連盟から国際競技大会に派遣された選手、さらに2024年度ブロック選手権各ブロック大会にてTOP 8となった選手等が一堂に会し、2024年度の頂点を決定する大会です。

中学3年生以下の選手を対象としたジュニアカテゴリーが2月15日(土)、高校1年生以上の選手を対象とした

オープンカテゴリーが16日(日)に東京のNHKホールにて開催され、NHK総合テレビで生中継されました。B-BOY B-GIRLオープン部門はシードで、昨年のパリオリンピック日本代表であるHIRO10、Shigekixが出場し、若くして実績のあるRAIONやNanohaなどの新世代が挑む注目の全日本選手権大会となりました。

オープン男子 (B-BOY)

昨年のリベンジを果たした Shigekix (半井重幸) が王座奪還

B-BOYは、パリオリンピック日本代表のHIRO10がTOP 8で16歳のRAIONに敗れるなど、レベルの高い戦いが繰り広げられました。ただ、その中でも昨年の王者ISSINと、昨年は2位に終わったが3連覇の経験を持つShigekixの存在感は別格。セミファイナルをそれぞれ大差で勝利し、決勝進出。この二人の決勝カードは昨年と全く同じで、前は当時絶対王者と言われていたShigekixをISSINが破り新王者となりましたが、前回同様3ラウンド全て接戦となり、最後は2-1でShigekixが勝利し、全日本選手権4度目の優勝を果たしました。



準優勝
ISSIN
(菱川一心)



優勝
Shigekix
(半井重幸)



オープン男子 (B-BOY) 表彰式

優勝 Shigekix (半井重幸)
準優勝 ISSIN (菱川一心)
第3位 Tsukki (飯沼月光)

オープン女子 (B-GIRL)

第1回大会優勝の AYANE (半井彩弥) が勝利!

一方のオープンカテゴリー B-GIRLは、初代オリンピック王者のAMI、昨年まで3連覇を果たしているAYUMIが出場しなかったこともあり、決勝では、共にRoad to Paris (2024年パリオリンピックへの道) を戦い、支え合ったAYANEとRIKOが対決。大阪出身のAYANEと沖縄出身のRIKOは、それぞれの地域をレペゼン(代表&象徴)した戦いとなりましたが、軍配はAYANEに上がり、見事第1回大会以来の優勝を果たしました。AYANEは3歳年下の実弟であるShigekixと揃ってNHK杯全日本選手権のチャンピオンに輝きました。



準優勝
RIKO
(津波古梨心)



優勝
AYANE
(半井彩弥)



オープン女子 (B-GIRL) 表彰式

優勝 AYANE (半井彩弥)
準優勝 RIKO (津波古梨心)
第3位 NANOHA (間瀬なのは)

**オープン男子
SHIGEKIX (半井重幸) 選手**

楽しかったです。パリオリンピック後に焦点を合わせて挑めた大会でした。今回はしっかりと自分でも自信を持ってぶつけられた大会だったと感じています。姉のAYANEと揃っての優勝は、感慨深いです。これまで毎回どちらかが悔しい思いをしていたので、今回初めて2人で、笑顔で帰るのが本当に良かったです。今後はカルチャーで発展してきたブレイキンですが、オリンピックという追い風もあり、大きな発展を遂げたと思います。ここからが僕たちの腕の見せ所だと思うので、カルチャーで培ってきたものとスポーツで得た知識を活かして、ブレイキンをさらに盛り上げていきたいです。



**オープン女子
AYANE (半井彩弥) 選手**

決勝では3ラウンドなので体力的にきつかったのですが、良いムーブを出し切ることができました。特にフリーズまで決め切れたのが良かったと思います。最後まで押し切れたことに満足しています。弟のShigekixと揃っての優勝は勿論嬉しいですが、弟がずっと一位でやっと横に並べたのが特に嬉しかったです。この5年間で（5年前の第一回大会優勝から）本当に多くのことが変わりました。世代も変わったし、たくさんの刺激をもらいました。この経験を通じて、自分と向き合うことの大切さを学ぶことが出来てよかったです。ブレイキンを通じて、挑戦し続ける姿で多くの人に勇気と元気を与えたいです。違いをリスペクトできるこの文化を伝え、世の中に良いパワーを与えられたらと思っています。



歓声上がるNHKホール



会場では子供の輪投げ遊びコーナーも開設されました。

“ブレイキンの無限の可能性で、世界を笑顔に”をチームビジョンに掲げるブレイクダンスチーム KOSÉ 8ROCKS (コーセーエイトロックス) によるショータイム!!

協力：ブレイクダンス本部PRパートナー FINEPLAY

来賓控室では、JDSF役員と株式会社コーセーや東急不動産、みずほファイナンシャルグループ、G-SHOCKなどのオフィシャルパートナーの皆様との懇親の場が設けられました。



パリ五輪報告とスポンサー各社への感謝の辞を述べる渡邊マロックパリ五輪監督



今後とも、ブレイキンをよろしくお願いいたします。

ブレイキンはパリ五輪で、それぞれ大ブレイクしました。スポンサー皆様方のお陰です!

布村幸彦JDSF会長(右)と、ブレイキン界の第一人者・石川勝之JDSF常務理事ブレイキン本部長

第26回全国ダンススポーツ競技会愛媛大会 第1回ブレイキン愛媛選手権大会

～初の社交ダンスとブレイキンのジョイント競技会～

2025年3月30日(日) / 今治市営中央体育館

愛媛県ダンススポーツ連盟事務局長
宮本 俊

2025年3月30日(日)、愛媛県今治市にて、第26回全国ダンススポーツ競技会愛媛大会及び第1回ブレイキン愛媛選手権大会が開催されました。これまでブレイキンの大会は個別に開催されていきましたので、社交ダンスの大会とブレイキンの大会を同フロアで併催して行なうのは初の試みとなりました。併催に際し、社交ダンスでの運営と異なる部分もありましたが、愛媛県ダンススポーツ連盟・宮本俊事務局長を発起人として、武田真知子会長の指示のもと、愛媛県ダンススポーツ連盟の理事・スタッフ一丸となって大会運営に取り組みました。また愛媛県ダンススポーツ連盟・本田昂基ブレイキン部長に助言いただきながら、ブレイキンの試合にて必要な備品や音響、タイムスケジュール、エントリー方法を詰めていき、社交ダンスの大会とのスムーズな併催を検討いたしました。

本大会では、ブレイキンの予選は社交ダンスの試合フロアとは別フロアにて行ない、スタンダード決勝戦前に、ブレイキンの決勝戦及び表彰式を社交ダンスと同フロアにて開催いたしました。ブレイキンの決勝戦では、ブレイキンの選手やご家族だけでなく、社交ダンスの選手らも観客として選手のパフォーマンスを堪能いたしました。社交ダンスとは異なるアクロバティックなパフォーマンスは圧巻であり、繰り出される技に皆様、歓声をあげていました。またブレイキンの選



大会会長 武田真知子
愛媛県ダンススポーツ連盟会長



ご来賓 山本順三
参議院議員



チェアパーソン 鈴江潔
徳島県ダンススポーツ連盟顧問

手も社交ダンスの試合を観ていただき、「このような大会があるのか」と社交ダンスに触れてもらえる良い機会となりました。

社交ダンスの試合では、15歳以下の選手も多く参加していただき、華やかなダンスをご披露いただきました。地元愛媛の選手はもちろん、他県の選手も今治市に集まり、ラテン・スタンダードともに熱い試合を繰り広げました。

大会運営に際しましては、徳島県ダンススポーツ連盟、香川県ダンススポーツ連盟等、四国の連盟の方々にもご協力いただきました。多大なるご支援に感謝申し上げますとともに、今後も四国4県協力し合い、社交ダンス・ブレイキンの活性化に尽力してまいります。

今回、ブレイキンとの大会併催という初の試みではありましたが、社交ダンス・ブレイキン双方にとって、お互いを知ってもらえる良いきっかけになったのではないかと思います。今後もブレイキンの大会併催を継続して続けていきたいと存じます。

優勝

網本悠平・森本芽依組(岡山県)



準優勝

松田峻汰・佐藤美玖組(広島県)



A級戦スタンダード



表彰式

A級戦ラテン



表彰式

準優勝

宮本慎也・宮本真実組(徳島県)



優勝

宮本俊・田中エリナ組(愛媛県)



シニアⅢ A級戦スタンダード



C級戦ラテン優勝の
新中学1年生女子カップル
溝淵春日・松尾実菜組
(愛媛県)



B級戦ラテン優勝の
京都府ダンススポーツ連盟会長
谷口主嘉・谷口小夜子組
(A級戦St3位)



スタンダード表彰式



ラテン表彰式

B級戦

C級戦



スタンダード表彰式



ラテン表彰式



スタンダード表彰式



ラテン表彰式

D級戦

ノービス



スタンダード表彰式



ラテン表彰式



チャチャチャ表彰式



ルンバ表彰式

しまなみ戦

ブレイキン選手権 B-Boy



ブレイキン選手権 B-Girl



GAKU (森安 寛選手)

優勝



KAISEI (高橋快智選手)

準優勝



MEISA (小池明咲選手)

優勝



Miori (鬼塚澤里選手)

準優勝

神奈川県ダンススポーツ連盟 創立50周年記念式典

2025年3月30日(日) / 横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ

都道府県連盟の先駆けとして発足

1970年(昭和45年)、日競連東部総局内のアマチュア部(選手会)の発足、翌1971年に全東北学連が新たに加わり名実ともに全国組織となった全日本学連。そして1975年(昭和50年)に全国の都道府県DS連盟の先駆けとなる神奈川県社会人アマチュアダンスサークル連盟(鈴木清会長)が誕生。翌年に発足した東京都アマチュアダンス協会と共に、公益社団法人日本ダンススポーツ連盟(JDSF)の前身となる日本アマチュアダンス協会(JADA)の設立の中心的役割を果たし、我が国のダンススポーツの普及振興に大きく貢献してきました。そしてこの日、神奈川県ダンススポーツ連盟は、全国の都道府県連盟にあって最初の創立50周年を迎え、盛大な記念式典が開催されました。



須田幸彦神奈川県DS連盟会長
「2021年に小野智史氏から会長職を引き継ぎました。コロナ禍による会員の減少や高齢化、ジュニア層の育成など課題も山積みですが、神奈川県DS連盟の先輩方の熱き心を胸に抱き、頑張ることに前進してまいります。記念式典にお集り頂き厚く御礼申し上げます」



布村幸彦JDSF会長
「満開の桜の下に記念式典を迎えおめでとうございます。ダンスの世界は神奈川県連盟が引っ張ってきたと言っても過言ではなく、パリ五輪のブレイキンも川崎が聖地。10ダンスも共に2028年から国スポの正式な公開競技になります。パリ五輪で花咲いたダンス競技をオリンピックでさらに大きく花を咲かせられるように、これからも神奈川県連と共に進めていきたいと思っております」

表彰式



功
労
者

《県会長経験者及び現相談役3名》
山口剛氏(JDSF常務理事)、竹島弘幸氏(JDSF元監事)、小野智史氏(JDSF監事)
代表して山口氏は、「28年前の社会人組織とLACD(選手会組織)の統合時に無理やり頼まれての会長就任でした」と挨拶



優
秀
選
手

《三笠宮杯等の選手権大会で大活躍中の2組》
スタンダード部門：小嶋みなと・盛田めぐみ組
ラテンアメリカ部門：押川慧悟・和田知世組



高
齢
表
彰

《長年に渡りダンスの発展と健康増進に寄与》
相模原市DS連盟・長野紀美夫氏(93歳)



躍
進
賞

《次世代を担う全国的な大会で優秀な成績の選手》
守屋駿・盛田舞香組、飯沼孟大・馬場えりか組、ホワイトン謙心・ホワイトン夏奈美組、外村温仁・田中夏希組、鈴木怜音・渡辺華凜組、山下晴之・磯部愛組、勝木里桜さん、安藤茉例さん



特
別
功
労
表
彰

《神奈川県DS連盟の加盟団体においてダンススポーツの発展に貢献》
堀越保氏(川崎市)、嶋田洋子氏(相模)、中塚厚生志氏(湘南)、三谷ときわ氏(横浜市)、岡本寿一氏(相模原市)、田代晃久氏(鎌倉市)、柴田真理子氏(藤沢市)、齋藤寧子氏(厚木市)、日比野彦彦氏(DSC神奈川)

祝宴



「常にダンススポーツの先頭に立つ神奈川県DS連盟の益々のご発展を祝し乾杯！」
渡辺英美千葉県DS連盟会長（JDSF特任顧問）



ご来賓の泉水孝子神奈川県スポーツ協会副会長（手前右）と布村会長等の主賓テーブル



祝宴会場



祝宴の後はダンスタイム



ジュニア選手のラテントライアル

チーム対抗戦

神奈川県DS連盟加盟の川崎市、横浜市、相模原市、鎌倉市、藤沢市、厚木市、相模、湘南とDSC神奈川の9つの連盟が、参加者全員を4カップル毎にチームを編成し、2ヒートに分かれての対抗戦を実施。



第1ヒートにおいて優勝
横浜市DS連盟Aチーム



第2ヒートにおいて優勝
DSC神奈川Bチーム

スペシャルデモンストレーション



左：Yushin（宮本侑信、NHK杯全日本ジュニア優勝）
右：AYANE（半井彩弥、NHK杯全日本オープン優勝）



花束贈呈



小嶋みなと・盛田めぐみ組
（全日本チャンピオン）



押川慧悟・和田知世組
（全日本シニアチャンピオン）



花束贈呈

すべての スポーツに エールを



スポーツくじの収益は、
日本のスポーツを育てるために
使われています。



くじを買うはエールになる

スポーツくじ



19歳未満の方の購入又は譲り受けは法律で禁じられています。払戻金も受け取れません。運営・販売：独立行政法人日本スポーツ振興センター

ダンス・ダンス・ダンス

第115号(Spring)

令和7年5月発行

- 発行人／中道俊之(公益社団法人日本ダンススポーツ連盟専務理事)
- 編集人／神宮周二(公益社団法人日本ダンススポーツ連盟広報部相談役)
- 編集長／興水洋一(公益社団法人日本ダンススポーツ連盟広報部長)
- 企画／公益社団法人日本ダンススポーツ連盟広報部
- 発行所／公益社団法人日本ダンススポーツ連盟
〒135-0063 東京都江東区有明3-4-2 有明センタービル1階
<https://www.jdsf.or.jp>

TEL.03-6457-1850 FAX.03-6457-1857

©本誌の記事・写真の無断転載を禁じます。